

東海四県(三重、愛知、岐阜、静岡)における産業構造の格差について ～平成17年産業連関表を使って～

平成26年1月
戦略企画部統計課

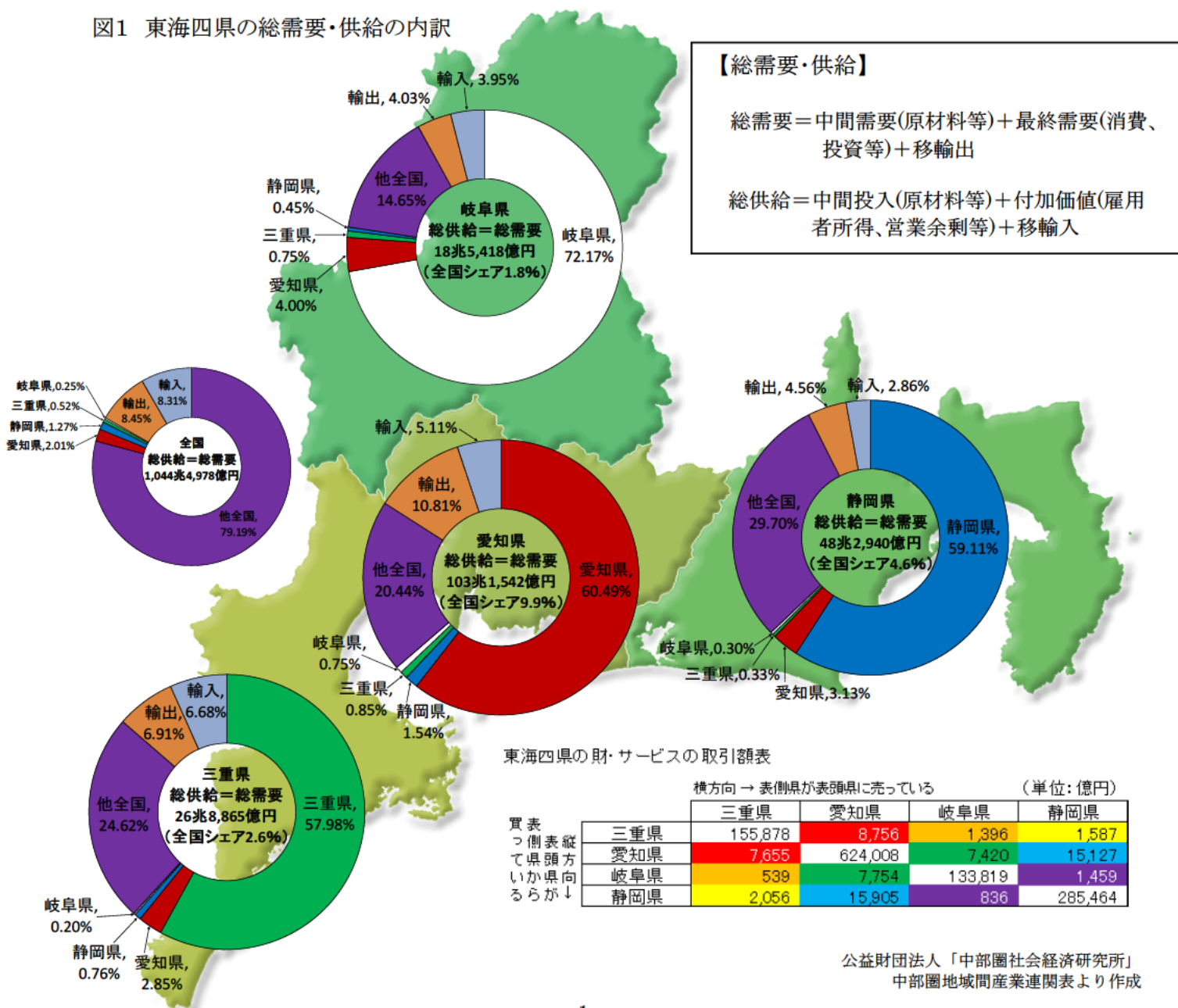
<要旨>

- ☞ 総需要・供給から見た、東海四県(三重、愛知、岐阜、静岡)間の財・サービスの取引を表します。
- ☞ 総需要・供給の投入係数を使って、東海(四県全体)と全国に対する各県の「強み・弱み」産業を明らかにします。(97部門表)
三重県の強みは「電子部品」「石油製品」など、弱みは「商業」などのサービス関連部門。
- ☞ 最後に、東海四県の産業別生産波及から、各県産業の特徴づけを行います。(34部門表)
三重県は「電力・ガス・熱供給」「石油・石炭製品」が影響を及ぼすのも受けるのも共に高い。

1 東海四県における財・サービスの取引状況

愛知県を中心として、財・サービスの取引は活発に行われています。自県調達率に関しては、岐阜県のみ他の三県の6割前後と違い、7割を超えています。

図1 東海四県の総需要・供給の内訳



2 東海四県における産業の「強み」・「弱み」

東海四県の各95産業部門について、「強み」は-（マイナス）で、「弱み」は+（プラス）で表したのが右の図になります。

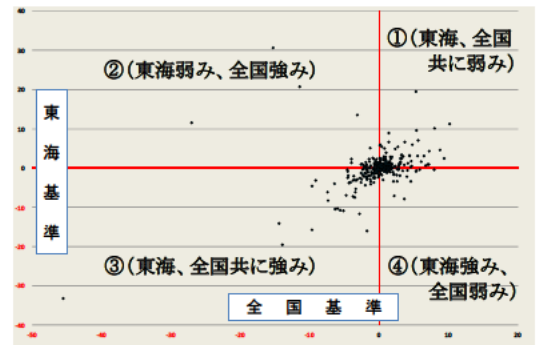
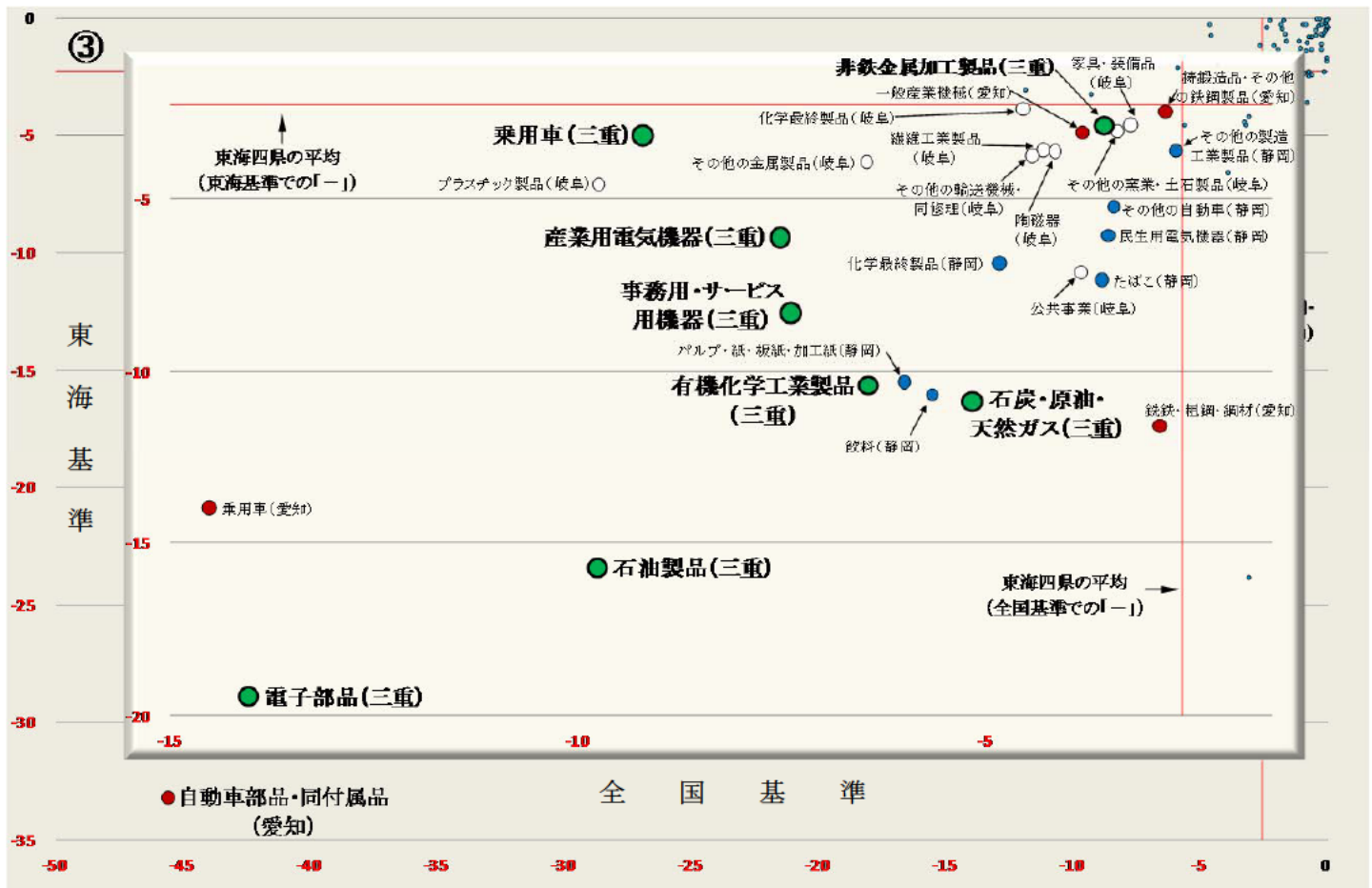


図2 産業格差の散布図(東海、全国共に強み)



強みのある産業部門

は極めて強みのある産業部門

【三重県】⇒東海、全国共に「-」が平均以上は8産業部門

電子部品(輸出の強み)、石油製品(消費の強み)、有機化学工業製品、石炭・原油・天然ガス、事務用・サービス機器、産業用電気機器、乗用車、非鉄金属加工製品

【愛知県】⇒東海、全国共に「-」が平均以上は5産業部門

自動車部品・同付属品(輸出の強み)、乗用車(輸出の強み)、鉄鉄・粗鋼・鋼材、一般産業機械、鍛造品・その他の鉄鋼製品

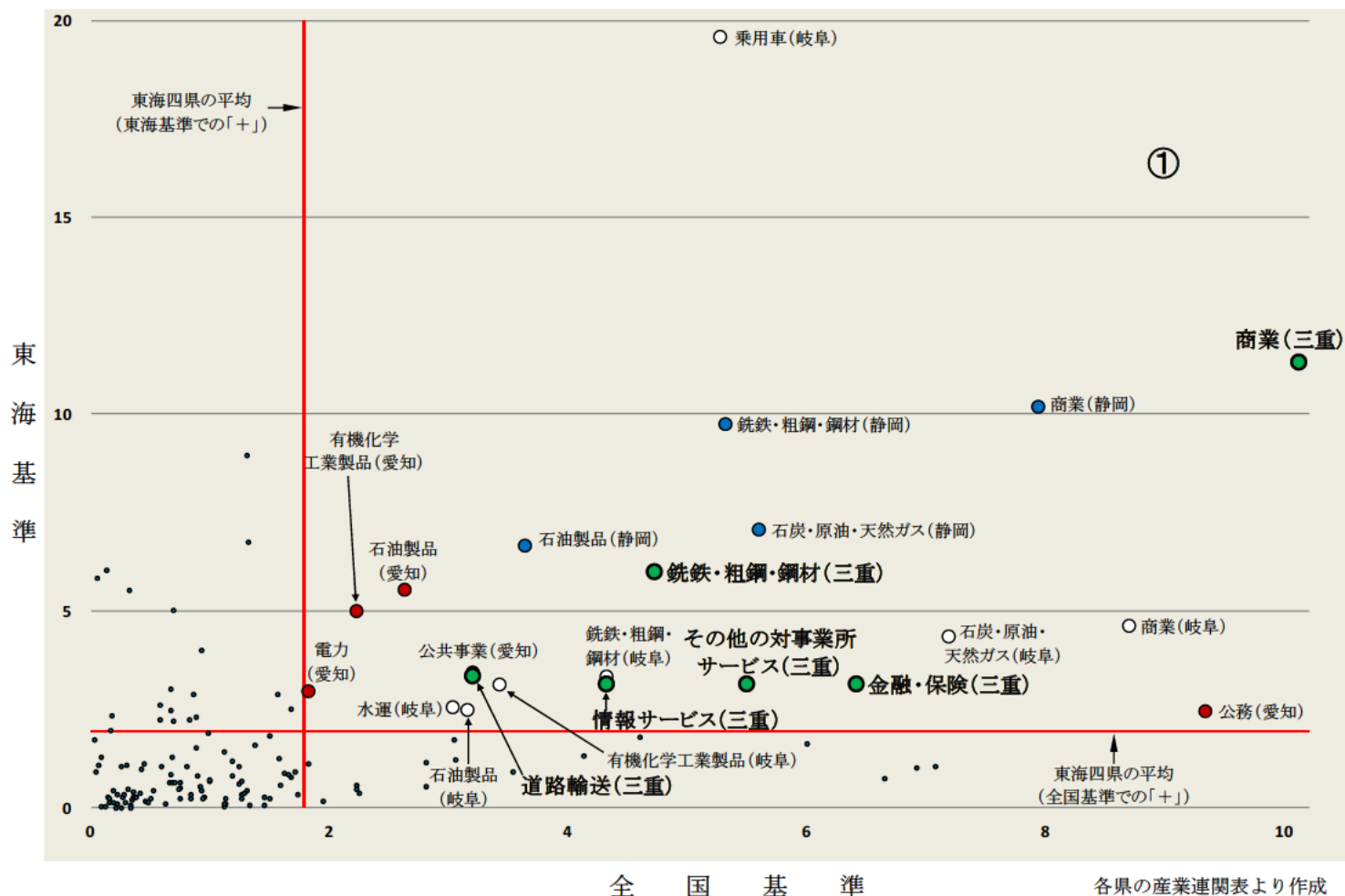
【岐阜県】⇒東海、全国共に「-」が平均以上は9産業部門

プラスチック製品(移輸出の強み)、公共事業(公的投資の強み)、その他の金属製品、その他の輸送機械・同修理、繊維工業製品、陶磁器、化学最終品、その他の窯業・土石製品、家具・装備品

【静岡県】⇒東海、全国共に「-」が平均以上は7産業部門

飲料(中間投入の強み)、パルプ・紙・板紙・加工紙(輸入の強み)、化学最終製品(輸出の強み)、たばこ(移出の強み)、民生用電気機器、その他の自動車、その他の製造工業製品

図3 産業格差の散布図(東海、全国共に弱み)



弱みのある産業部門

は極めて弱みのある産業部門

【三重県】⇒東海、全国共に「+」が平均以上は6産業部門

商業(消費、民間投資の弱み)、鉄鉄・粗鋼・鋼材、金融・保険、その他の対事業所サービス、情報サービス、道路輸送

【愛知県】⇒東海、全国共に「+」が平均以上は5産業部門

公務(中間投入の弱み)、石油製品、有機化学工業製品、公共事業、電力

【岐阜県】⇒東海、全国共に「+」が平均以上は6産業部門

乗用車(輸出の弱み)、商業(民間投資の弱み)、石炭・原油・天然ガス、鉄鉄・粗鋼・鋼材、有機化学工業製品、石油製品、水運

【静岡県】⇒東海、全国共に「+」が平均以上は4産業部門

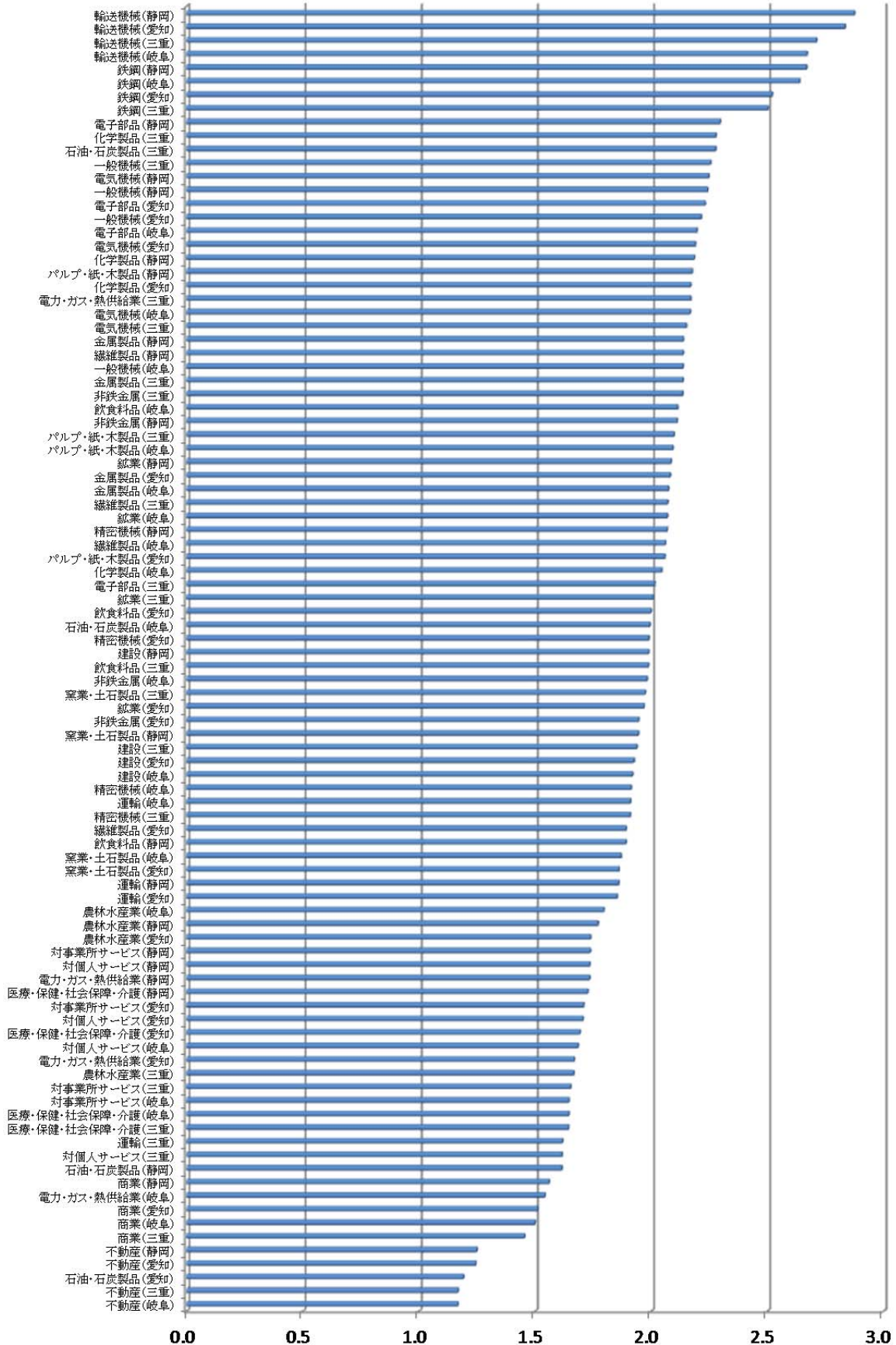
商業(民間投資の弱み)、鉄鉄・粗鋼・鋼材(輸出の弱み)、石炭・原油・天然ガス、石油製品

3 東海四県における最終需要の生産波及（逆行列係数の列和比較）

「輸送機械」「鉄鋼」「電子部品」「一般機械」「電気機械」「化学製品」などが上位になっています。それ以外では、三重県の「石油・石炭製品」「電力・ガス・熱供給業」の高い生産波及が特徴です。

※「逆行列係数の列和」は、最終需要が1単位増加したときの、各部門に及ぼす生産増加額の倍率を表します。

図4 逆行列係数の列和比較



4 東海四県における産業部門の特徴づけ

- * 影響力係数 = (逆行列係数の列和) / (逆行列係数の列和の平均値)
ある産業に対する需要が全産業に与える影響の度合いを示す係数で、大きいほど他産業に対する影響力が大きい。
- * 感応度係数 = (逆行列係数の行和) / (逆行列係数の行和の平均値)
全産業に対する新たな需要による特定の産業の感応度を示す係数で、大きいほど他産業による感応度が大きい。

図5のように影響力係数を縦軸に、感応度係数を横軸にプロットされた各産業部門の値がどこに位置するかによって、それぞれの産業部門が持っている特性が判断されます。

- タイプ 1** (産業全体に対する影響力が強かつ影響も受けやすい産業部門)
「輸送機械」、「その他の製造工業製品」、「パルプ・紙・木製品」が四県すべて属し、「輸送機械」でみると愛知県が群を抜いています。「電子部品」は静岡以外の三県が、「化学製品」は三重県と静岡県だけが属しています。単独で属しているのは、三重県の「電力・ガス・熱供給」や「石油・石炭製品」、また愛知県の「鉄鋼」となっています。
- タイプ 2** (産業全体に対する影響力は強いが、生産波及効果の影響はそれほど受けない産業部門)
「電気機械」、「一般機械」、「鉱業」などが属しています。
- タイプ 3** (影響力、感応度ともに低い産業部門)
「不動産」、「公務」、「対個人サービス」、「農林水産業」などが属しています。
- タイプ 4** (産業全体に及ぼす影響力は低いが、感応度係数は高い産業部門)
「対事業所サービス」、「商業」、「金融・保険」、「運輸」など各産業に対してサービスの提供を行う部門が多く属しています。特徴的なのは、「教育・研究」において三重県だけ感応度係数が1を割り込んで、タイプ3に属しているなど、三重県のサービス産業部門の感応度が総じて低いことです。

図5 影響力係数と感応度係数(東海四県間の経済取引を考慮した中部圏地域間産業連関表により作成)

